

桂坂山の手倶楽部だより (第3号)

平成18年2月1日発行
桂坂山の手倶楽部だより編集委員会

役員会だより



1. 第4回役員会 (11/27)

- 1) 10月27, 28日に開催された作品展の反省を行いました。作品の受付時期をもう少し早くする方が準備の都合上好ましいとの意見があり、次年度には配慮することになりました。
- 2) 第2倶楽部の越當氏からご提案を頂いた当倶楽部の会則並びに覚書の改訂案の内容を確認し、次回役員会で検討することになりました。方向としては、会則にあまり細かなことを入れない方がよいのではないかと意見が多く出ていました。
- 3) 新年互礼会の開催要領について検討し、今回は各分科会からの出し物はやめて、外部の人に依頼する事にしました。
- 4) 会員勧誘の際等に活用するために、当倶楽部の概要をまとめた「桂坂山の手倶楽部のプロフィール」(パンフレット)を準備する方向で、その内容について検討しました。総会で会費の変更が決まってから配布することになりました。
- 5) 今後の日程について、以下の通り確認しました。

第5回役員会 : 2月 4日 (土)
第2回合同会議 : 3月12日 (日)
第6回役員会 : 4月 2日 (日)
第15回総会 : 4月23日 (日)



区老連だより

1. 福利厚生委員会

11月24~25日に実施された西京区老連主催の「宇奈月温泉旅行」に、当倶楽部からは16名の会員が参加し、秋の旅を楽しんできました。

2. 文化委員会

1月26日~27日、「京都みやこめッセ」に於いて例年通り「健康展・福祉展・作品展」が開催され、当倶楽部から、書:5点、一筆画:6点、写真:3点が出展され高い評価を受けました。

3. 広報委員会

機関紙第54号へ多くの会員の皆様から俳句の投稿を頂きありがとうございました。

4. 研修委員会

11月21日に洛西支所で開催された研修講座「頼朝と義経の確執」には、約120名の参加者

があり、当倶楽部から4名の会員が参加しました。

その他のお知らせ



1. 新年互礼会開催

1月7日(土)に平成18年新年互礼会が開催されました。参加予定者は81名でしたが、当日は小雪がちらつくあいにくの天候の為に欠席者が5名出て、実際の参加者は76名でほぼ昨年並みとなりました。

乾杯の前に謡曲とコーラスの披露をして頂き、その後、今回は各分科会からの出し物はやめ、懇談の途中に「ビリーブ」(ハンディを乗り越えてボランティアで希望のメロディーを奏でているグループ)のメンバーの歌とピアノの演奏をして頂きました。何れも熱演されて、高い評価を受けていました。

昨年同様、最後にビンゴゲームを行い、ささやかではありますが全員の皆さんに景品をお持ち帰り頂きました。このような楽しい互礼会ですので、今年ご参加頂けなかった会員の皆様も、来年是非ご参加をして頂ければと願っています。



2. 小学生の安全確保への協力要請

桂坂小学校PTAからの要請に対応して、先に小学校低学年生の下校時に出来るだけ散歩等で外に出て子供達に目を掛けて欲しいとの依頼を致しました。可能な範囲でそれぞれ対応して頂いている事と思いますが、この度、新たに地域で統一した腕章などを準備するので、これらを活用した協力要請がPTAからありました。

これを受けて、今後どのように対応していくかについて次回の役員会で検討する事にしています。

3. 小学1年生との遊びの会参加のお願い

桂坂小学校から、2月24日(金)午前小学校1年生との遊びの会の依頼が来ています。後日個別に参加をお願い致しますので、出来る限りご協力をお願い致します。

会員投稿欄

1. 桂坂小学校開校経緯

第1倶楽部 松尾 隆夫 氏

(松尾氏が桂坂小学校開設までの経緯を取りまとめられた内容を、編集委員会で再編させて頂きました。)

【経過】

昭和61年4月 入居始まる
☆新林小学校に通学始まる
63年6月 ☆小、中学校開校準備委員会発足
平成元年 4月 ☆桂坂小学校、大枝中学校開校

学校準備委員会準備室長は、大枝中学校初代校長の佐野幸夫先生で、洛西中学校の片隅に準備室を構えておられ、続いて桂坂小学校初代校長中西一孝先生の2人になられた。自治会主体の準備委員会とPTA主体の実行委員会が車の両輪の如く開校に向けて取り組まれた。

【学校名】

学校名は当然「桂坂小学校」と「桂坂中学校」でいこうとなったが、既に大枝の方々が「大枝中学校」と決めておられた。先輩方の意向を尊重し、中学校名は「大枝中学校」とし、小学校名は「桂坂小学校」とすることに決定し、教育委員会に申請して市議会で承認され決定したという経緯がある。

【どん帳】

実行委員会の希望を入れた3種類の図案が出来てきたが、桂坂に太陽が輝き6学年の子供達が手をつないで世界にはばたく躍動する構図に決まる。

【校章】

公募の結果、さつき自治会の細谷僚一氏（けやき自治会の細谷ハツエさんのご子息）の作で、桂坂のKを基調に坂を登るたくましさや野鳥飛びかう緑豊かな自然と天空を飛翔する自由でおらかな精神を示す鳥のシンボルを図案化したものと聞く。

【校歌】

緑と鳥の自然と子供同志の心の通じ合いと、21世紀に向かって子供達が世界にはばたくようにとの3本柱が基本になっている。

作詞は筆者であるが、素人の作品を京都文教短期大学教授の月溪宏氏に校閲して頂き、大変立派になり感謝している。更に、京都市社会教育指導員の福沢昌彦氏に子供達が素直に歌える曲を付けて頂き完成した。

第1回卒業生が校歌を彫って講堂に飾ろうということになり、8センチ角ぐらいの大きさの板に各自が1字づつ彫って畳1畳ぐらいの枠に埋め込み講堂の左に掲額された。これらの字はしらかば自治会の喜多みどりさんに書いて頂いた。

【ミーティングルーム】

桂坂は地域に開かれた学校と言う事で、地域住民の方々に自由に使ってもらおうと西側にミーティングルームが作られた。学校と遮断されても西側から自由に入出りが出来、会議室、和室、トイレが自由に使える苦心の設計になっている。この室の机、椅子、湯呑茶碗等はかえで自治会としらかば自治会で寄付金（夏祭りの余剰金等）を募って対応した。

【会計】

学校が開設する時はすべて教育委員会よりお金が出ると思っていた所、必要最低限のみでそれ以上どん帳やグランドピアノ等を設置するのは地元でということであった。

開発中の（株）西洋環境開発と京都労働者住宅生活協同組合の2社にお願いし、合計3千万円の寄付をしてもらう。小、中学校、千五百万円づつとした。この他、教育委員会からの図書で足りない図書の購入、学校側のたっのご希望の立派な鳥小屋と池を作って残金がゼロになった。

【ビデオ】

平成元年4月5日の小、中学校の開校式を筆者がホームビデオで撮影し、太秦映画村のプロ

の編集機でかえて自治会の細谷修三氏に編集してもらい、小、中学校に保管してある。

【結び】

学校の開設というほとんどの人が初めての体験、つい先日知り合ったばかりという間柄の人ばかりで、10ヶ月という短い期間等、初体験づくめの開設であった。

新緑の頃準備委員長の初代かえて自治会長湯浅忍氏の家で教育委員会からの設計図による説明を受けてから約1年。なるべく自給自足で住民の方々に参画してもらい、ステンドグラス付きの学校にふさわしい、21世紀へ向かう小学校として恥ずかしくないことを心掛け、京都一広い敷地を持ち、環境抜群、設計万全にふさわしい学校作りを願った。

今年初めて、桂坂小学校にピッカピッカの一年生で入学した子供達が、大枝中学校を卒業する記念すべき10周年に記録として書きとめておく。

2. 健康の管理

第3倶楽部 松本 正二 氏

誰に拘束される事もない自由な時間ができる老後の生活をいきいきとしたものにするなら、健康が一番大切なポイントになります。

健康を管理するには、規則正しくメリハリのある生活と定期的な健康チェックが欠かせません。中高年になったら、体を鍛える事より体力の維持・保護がポイントになります。食事がバランスよく摂れているか、健やかな睡眠、排便など生体のリズムに無理がないかなど振り返ってみましょう。

今まで、病気知らず、医者にかかったことがないという健康自慢の方も、若い時と同じようにいなくなります。誰もが年を重ねると共に弱くなっている部分があるものです。その弱った部分に、病気という形で現れてくる場合も多く見受けられます。その代表例として、「生活習慣病」があげられます。この「生活習慣病」は加齢と関係深い病気群と考えられます。日頃の不摂生が蓄積されて、自覚症状のないままに病状が進行するすることが多く、一般的には40歳前後からの病気ととらえればよいでしょう。高血圧、動脈硬化、糖尿病、癌等の生活習慣病は、自覚症状があまりないままに深く進行する事が多く、気付いた時にはもう遅いということも多々あります。

それだけでなく健康診断を受けるのは「何か悪い病気がないか」とつい不安になって億劫になりがちです。あるいは、自覚症状もないし、大丈夫、元気だと自分に言い聞かせて何もしない毎日の人が多いようです。

充実したセカンドライフを送るためにも、健康診断は定期的に行きましょう。民間の病院等で「人間ドッグ」に入るのもいいのですが、費用がそれなりにかかります。手軽に出来るのは、各市町村で実施している「成人病検診」です。一般検診では、①問診 ②身体検査 ③血圧測定 ④検尿 ⑤血液検査等が行われています。また、肺ガン、胃ガン、大腸ガン、乳ガン等のガン検診等が行われています。

健康診断を受けても、受けっぱなしは禁物です。「要治療」「要精密検査」という結果が出たら、医師の指示に従いましょう。また、「異常なし」でも、規則正しい生活を心掛けることは言うまでもありません。

原稿応募のお願い



新しい年を迎えて一ヶ月が経ちました。今年も編集委員一同で広報誌の充実を目指していきたいと考えています。4号の発行は5月1日の予定です。どんな内容でもかまいませんので、4月15日までに下記の編集委員まで原稿をご提出下さいますようお願い致します。

編集委員

第1倶楽部 米倉 英彦 (☎332-7836)

第2倶楽部 乗本 政三 (☎332-7277)

第3倶楽部 松本 昭子 (☎331-6641)

第3倶楽部 辻 タカ枝 (☎331-2298)

事務局：高橋 俊樹、八木 兵司